

## One Team Hokuetsu ⑮



5月12日（火）おはようございます。  
今日は、3年生の登校日です。午前午後に分かれての登校です。



昨日は、2年11組担任平野先生と1年5組担任弓桁先生の対談でした。お二人とも野球部の顧問でいらっしゃいます。早く部活もできるようになるといいですね。さて、今日はどういう展開でしょう。

こんにちは！！1年5組担任で生物担当してます弓桁（ゆみげた）です！今回は英語の坂上先生にインタビューしました！

弓桁：坂上の先生の趣味はなんですか？

坂上：趣味というか休日は十か月になる娘と遊んでいますね。絵本（どんどこももんちゃんなど）と一緒に読んでます。一日最低でも20冊くらいはしますね。あとはアニメやマンガが好きです。キングダムやBaccano（イタリアのマフィアの話）が好きです。



弓桁：次に高校時代の思い出を教えてください！

坂上：やっぱり部活ですかね。バスケットボール部だったんですが、校舎の立て替えの時期で体育館がなくなっちゃい、部活をするときには外部の施設に行くことが多かったです。自転車をこいで2、30分かけて行ってました。冬は雪が降るので、バスに乗って練習に行ったこともありました。そのせいで練習が1時間くらいしかできなかったんですけど、最後の県総体でベスト8までいくことができたのは良い思い出です。

弓桁：なぜそこまでいけたと思いますか？

坂上：自分たちの代になった最初の地区（下越）大会でこけて地区ベスト8にも入らなかったんです。ちなみに1つ上の代は優勝していて自分の代は前の代から出ている選手も多かったんで、決勝にもいけるだろうと過信していた部分があったんだと思います。しかし、そこで負けたことでおごりを捨て、みんなの意識が一つになり、勝ちに向かって練習に励むことができました。

弓桁：でも練習時間は短かったんですよね？大変じゃなかったですか？

坂上：時間が短いからこそ、ひとつひとつの練習に集中して取り組みました。アップは個人で行い、体育館が使えるときはチームの練習を凝縮して行っていました。たとえばスリーメンを5分以内に60本全員で決めるまで終われないみたいな。それが終わらなければ、また最初から。それによって集中力が高まっていったのかもしれませんが。

弓桁：今も女バスの顧問や社会人バスケットを続けていますが、バスケットのどこが好きですか？

坂上：私はガードというポジションをやってきました。得点を取るのももちろん楽しいですが、ディフェンスをかいくぐってパス（アシスト）をした瞬間がたまらなく楽しいですね。あとディフェンスも好きなので、プレッシャーをかけてかけてかけて相手にミスをさせた瞬間も楽しいですね！

弓桁：話は変わりますが、教員になった理由はなんですか？

坂上：中学校時代のバスケット部の先生の影響ですね。とても厳しい先生でやめようと何度思ったことか。でもその厳しい練習に耐えたおかげで成長できました。一年の頃は地区一回戦や二回戦負けだったんですよ。でもその先生の厳しい指導や強豪校との練習によって、二年生の秋には下越4位までいくことができました。その時その先生の指導のおかげで成長したんだと感じましたね。一年上や一年下が一人しかいなかったのも、自分の代で勝てたというのがとても嬉しかったです。そしてその先生のようになりたいと思いました。私も生徒に自分たちのような感情を持たせたい、バスケットを教えてたいって。

また、私は英語が一番苦手だったんですが、高校3年生のときに英語の先生になろうと決めました。苦手だからこそ苦手な生徒の気持ちがわかるんじゃないかと思ったからです。またそのとき通っていた塾の英語の先生の授業がおもしろくて、その先生みたいに苦手な生徒にも英語のおもしろさを伝えられるような教員になりたいと思いました。

弓桁：大学ではどういう勉強をしていましたか？

坂上：英語学をしていました。

弓桁：英語学？一体どういう学問なんですか？

坂上：英語そのものに焦点を当てている学問で、そこには英語の構造（文法）なんかも含まれています。もともと英語は文法が嫌いだったので、そこにあえて飛び込んで学んでみようと思いました。

弓桁：主にどういう研究をしていたんですか？

坂上：卒論は冠詞をやりました。例えば a と the の違いなどについてです。日本語の助詞

「は」と「が」の違いはそれに似たところがあるんじゃないかと思います。興味深い内容でした。

弓桁：坂上先生から見て大学はどんなところでしたか？

坂上：大学というのは自分の努力次第でどうにでもできます。高校と違って親や先生から干渉されることが少なくなるので、一生懸命勉強する人は伸びていき、遊び惚けている人は後が大変になっていきます。自己責任ですね。そういうの全部ひっくるめてなんでも経験できる場所が大学だと思います。アルバイトも社会経験としてできますしね。大学では時間に余裕があるので、人生の中で色々なものを経験するにはちょうどいい時期だと思います。

弓桁：夢はありますか？

坂上：英語教員としての目標は少しでも多くの生徒に英語が楽しいなと思ってもらえるような授業をやっていきたいです。もちろん将来使う使わない関係なくということです。使わなくても英語って楽しいなっていうイメージを持ってもらえるのが嬉しいです！もちろん進路を見据えた指導もしっかりやります。

弓桁：それでは最後に高校生に向けてのメッセージをお願いします！！

坂上：なんでもいいから全力で取り組めることを今のうちにやってもらいたいです。今しかできないことがあると思うんですよね。必ずそれがあとでどこかでつながってくる！私が好きな言葉で「connecting dots」というスティーブ・ジョブズの言葉があります。「点と点をつなぐ」という意味で、人生でまったく関係のない出来事も最後にはつながってくるんだということを言っています。将来関係ないだろうと思うことでも今できることを全力でやることによってそれが将来つながってきて人生の糧になると思います。私は中学の時生徒会長を半強制的にやってたんですが、それによって人前で話す力が付きました。それが今の教員をする上でとても役に立っています。また、英語が嫌いだったというマイナスのことであっても今は英語の教員をやっているという形でつながったと思っています。

弓桁：たしかに私も教員になって、その時無駄とってたことが今活きてくるっていうのはよくあります！坂上先生どうもありがとうございました！！

明日は、2年生の登校日ですね。雨の予報でしょうか。気をつけて登校してください。